



伝統文化を「今」に活かし続ければ、北海道の森をもっと豊かにできる
コタンコロカムイ=シマフクロウが、すみたくなる森をめざす
それがわたしたちのとりくみ —— 日高地方沙流川水系の国有林野で

21世紀・アイヌ文化伝承の森協定10周年 記念フォーラム

◆日時:令和6年(2024年)2月20日(火) 午後1時30分～4時45分

◆会場:北海道沙流郡平取町二風谷 沙流川歴史館 レクチャーホール

* オンライン受講の配信あります

◆主催:北海道森林管理局 / 平取町 / 平取アイヌ協会

◆申込:会場で受講の場合は事前申込は必要ありません

*オンライン受講は事前申込が必要です 受講無料

→→→ くわしくは、このチラシのウラ面をご覧ください →→→

◆沙流川歴史館では〈21世紀・アイヌ文化伝承の森プロジェクト〉を
紹介するパネル展を開催中 1月30日(火)～3月3日(日) 入場無料

21世紀・アイヌ文化伝承の森協定10周年記念フォーラムの概要

1 趣旨

平成25年(2013年)に、北海道森林管理局、平取町、平取アイヌ協会は、「21世紀・アイヌ文化伝承の森再生計画－コタンコロカムイの森づくり推進のための協定書－」を締結しました。この協定は、次の5つの基本理念を掲げています。

- (1)アイヌの人々が伝統的な狩猟・採集等の場として利用してきた北海道古来の森林の再生
- (2)アイヌの人々の文化伝承に必要な草木等の生物相の育成と回復、保全と活用
- (3)国有林野やその産物の新たな活用と保全によるアイヌの人々や地域住民の雇用機会の創出
- (4)地域と国有林との協働・連携による森づくり
- (5)アイヌ施策推進法に則った森林に係る分野での諸方策の積極的な実施

この協定に基づき、上記3者が協働と連携を深めながら多様な事業・活動を展開してきたことにより、アイヌ民族と国有林による史上初の本格的な共同プロジェクトは、多くの意義深い成果を産み出しつつあります。

協定締結10周年を記念し、関係者をはじめとする多くの方達と共に、これまでの取組を振り返り、今後の課題や将来の展望について語り合うフォーラムを次により開催します。

皆様の御参加を、お待ちしております。

- 2 主催 北海道森林管理局 平取町 平取アイヌ協会
- 3 日時 令和6年2月20日(火) 午後1時30分～午後4時45分
- 4 会場 沙流川歴史館 レクチャーホール(平取町二風谷227-2)
- 5 次第 以下のとおり予定

+++ 記念フォーラム・プログラム 午後1時30分 開会 ～ 午後4時45分 閉会 +++

☆フォーラム前半の進行役＝北海道森林管理局総務企画部企画課長 佐藤秀憲
同補佐＝平取アイヌ協会副会長 宇南山嘉宣

- ◆開会の御挨拶 北海道森林管理局長 吉村 洋
平取町長 遠藤桂一
平取アイヌ協会会長 木村英彦
- ◆来賓の御挨拶 三井物産株式会社理事北海道支社長 中野 真 寿 様
北海道大学アイヌ・先住民研究センター長 加藤 博 文 様
国立アイヌ民族博物館長 佐々木 史 郎 様
国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部長 佐々木 純 様
環境省北海道地方環境事務所長 牛場 雅 己 様
- ◆経緯・基調説明 ◇北海道森林管理局 日高北部森林管理署長 野木宏祐
- ◆現況報告 ◇平取町
副町長 佐藤和三 / アイヌ施策推進課長 木下正人
◇平取町アイヌ文化振興公社
総務部長 大竹孝広 / 主任(狩猟分野担当) 門別徳司
◇北海道大学観光学高等研究センター
准教授 岡田真弓 / 研究員 四戸秀和

*** 休憩 ***

☆フォーラム後半の進行役＝シマフクロウ環境研究会 竹中健
同補佐＝平取町アイヌ施策推進課(学芸員) 吉原秀喜

- ◆特別報告 ◇北海道科学大学名誉教授(近自然森づくり) 岡村俊邦
<IWORK型近自然の森をめざす>
◇東北芸術工科大学名誉教授(民俗学/文化人類学) 田口洋美
<先住民族文化と森林生態系の再生・保全>
- ◆三者討論 北海道森林管理局長 / 平取町長 / 平取アイヌ協会会長
- ◆全体意見交換 主に共催者・報告者間で
※フロアからは質問用紙で受け付け
植物に関するコメント・回答担当者として三木昇氏(北の森自然伝習所)
- ◆閉会 共催者を代表して 平取アイヌ協会会長 木村英彦



▼オンライン受講も可能なハイブリッド方式で開催。参加無料。
事前申込はオンライン受講希望の場合だけ必要。

▼申し込みは左に印刷されているQRコードを利用してください。
▼沙流川歴史館では、平取町アイヌ文化振興公社が

<21世紀・アイヌ文化伝承の森プロジェクト>を紹介するパネル展を開催中。
入場無料 1月30日(火)～3月3日(日)まで